

タブレット導入でペーパーレス化へ

議会活動のさらなる活性化や利便性の向上、紙資源の削減、業務効率化を目的に各議員へタブレット端末を貸与しました。このページでは、タブレット端末導入の背景や効果、そして今後の取組について紹介します。

なお、令和7年第4回定例会では、紙資料と併用しながらタブレット端末の試験運用を行いました。

なぜタブレット端末を導入したのか

- 紙資料が膨大で印刷・配付に多くの時間とコストがかかっていた
 - 膨大な資料の中から、該当の資料を見つけるのに時間がかかっていた
- デジタル技術の活用による業務効率化や利便性の向上が必要



導入による効果

1 情報伝達の迅速化及び紙資源の節約（環境負荷の低減）

従来の郵便・メール・FAXに代わり、インターネット上の会議システムを利用することで、会議資料等を迅速に共有することができ、これまでの膨大な紙媒体の資料をタブレット端末に集約できます。

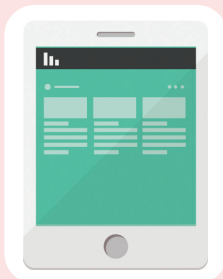
第4回定例会では、**約1万枚**の紙資料の削減効果を確認

→ 紙1枚の印刷コストを10円とすると
経費削減効果は**約10万円**

※会議システムで閲覧した資料のページ数を、紙に印刷した場合の枚数として換算したものです。

2 資料の視認性の向上

写真や図解などもカラーで鮮明に表示できるほか、文字の拡大もできるため視認性が大幅に向上しました。



3 利便性向上及び業務効率化

資料の検索機能など、高い文書管理機能が備わっています。さらに、印刷・配付に係る作業時間の減少が期待できます。



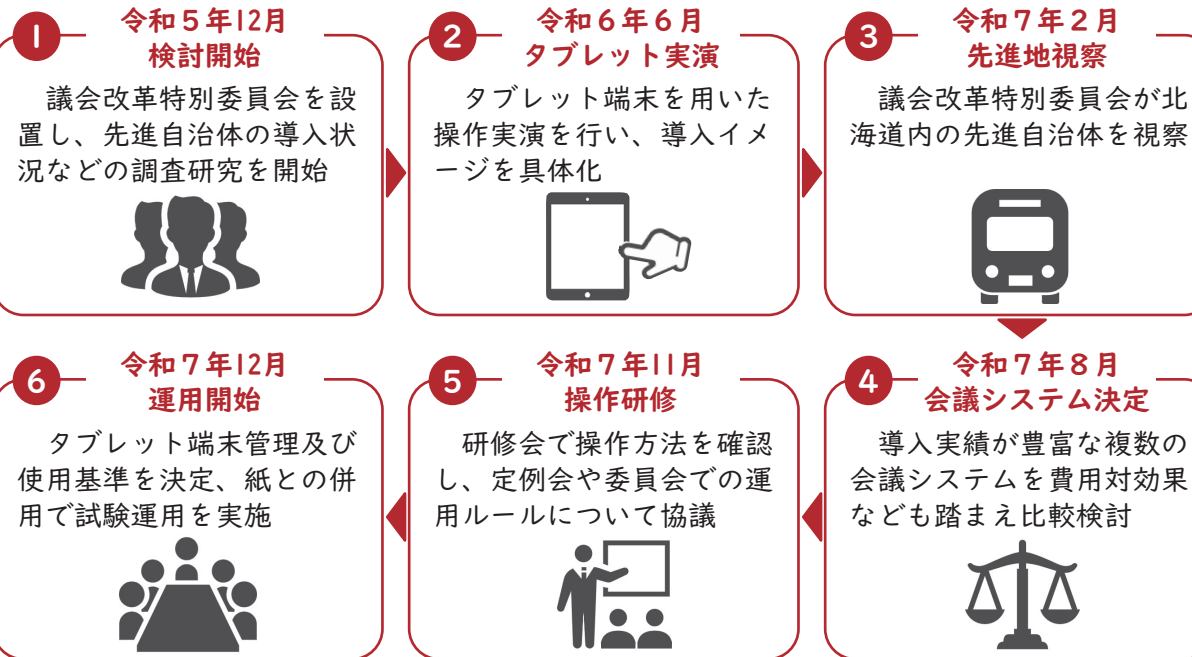
議会活動における今後の取組

- 可能な範囲でペーパーレス化を推進し、印刷・配付コストの抑制、業務効率化を図ります
- 💡 **市議会だよりの校正作業にもタブレット端末を活用することで、紙を削減しました**
- 災害時の迅速な情報共有などに役立てることを検討します



タブレット端末を試験運用した第4回定例会の様子

導入までの流れ



市民の皆さんの疑問にお答えします

Q **タブレット端末の導入には全議員が賛成しているの？**

A 一部の議員からは「導入費用が高く、市民の理解が得られにくいのではないか」といった反対意見がありました。こうした意見も踏まえ、当初予算（約600万円）ベースよりもコストを抑えたタブレット端末などを採用しています。今後は、印刷や配付に係る費用削減などの効果を数値で示すなど、市民の皆さんに分かりやすくお伝えしていきます。

Q **導入費用は？**

A 令和7年度の導入費用は約199万円で、次年度以降の維持費用は年間で約40万円です。タブレット端末の導入により、印刷や配付に係る経費の削減が期待され、長期的にはコストの抑制につながる見込みです。

導入費用 約199万円	端末等購入費	約154万円
	会議システム初期設定・操作説明	約28万円
	会議システム利用料(11~3月分)	約17万円

Q **紙の資料は完全になくなるの？**

A すべての資料を電子化するわけではなく、必要に応じて紙の資料を併用していきます。